



8月31日、海女小屋はちまんかまどを運営する有限会社兵吉屋から市のアワビ種苗放流事業に活用して欲しいと現金25万円を寄付していただきました。市では昭和49年から持続的な水産資源の利用を行うため、種苗放流を行い水産資源の保護・育成に努めており、同社からは平成28年より毎年寄付していただき、今年で5年目となります。

同社の野村一弘社長は「海女さんたちの存続のためにも協力したい」と思いを話し、中村市長は「これからの鳥羽の海や海女さんのために活用させていただきます」と感謝を述べました。

アワビの種苗放流事業に寄付をいただきました



鳥羽展望台に設置されている、ストリートピアノ「鳥羽展望台絶景ピアノ」が好評のため常設となりました。このピアノは展望台開業当時にコンサートなどで使われていたもので、鳥羽を訪れたかたが楽しめるようにと設置されました。

SNSで絶景ピアノを知ったというピアノニストKとしても活動する鈴鹿市の伊藤佳宏さんは「すばらしい景色のなかで演奏ができて気持ちよかった」と話し、鳥羽展望台の野村文子さんは「多くの人に知ってもらい、この地域を訪れるきっかけになってほしい」と話してくれました。

鳥羽展望台絶景ピアノは毎日午前9時30分から午後4時まで開設しており、どなたでも無料で演奏できます。

鳥羽展望台絶景ピアノが好評につき常設に



9月9日、あらっこ放課後子ども教室でコマ撮りアニメ作り体験が行われました。

講師は元地域おこし協力隊で映像作家の佐藤創さんが務め、子どもたちは固定の位置でさまざまなポーズをとって被写体となりました。撮り終えた写真を佐藤さんがその場で編集してつなぎ、アニメーション手法を使って作成した動画を披露すると、子どもたちは写真でポーズをしている自分たちが動いている様子を見て歓声をあげました。

参加した子どもたちは「とてもたのしかった」「またやってみよう」と笑顔で話してくれました。

コマ撮りでアニメ作りにチャレンジ!



鳥羽市とイオンリテール株式会社の共同事業である移動販売車のお試し販売が始まりました。

移動販売車は買い物弱者支援を目的として昨年から実証実験を行い、今年の6月から本格始動予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期をしていました。しかし、市民のみなさんからの要望を受けて、お試し販売を9月8日から開始しました。

同社イオン鳥羽店の中野等営業課長は「買い物に不便な思いをしているかたたちのお手伝いをしていきたい」と思いを話してくれました。

移動販売車によるお試し販売が始まりました